

## 「親子で遊ぼう！女技の夏休みサイエンス 2022」開催報告

日時：令和4年8月10日（水）

場所：大阪大学産業科学研究所管理棟1階講堂他、zoom（ハイブリッド開催）

対象：小学3年~4年生

### 概要：

大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク（以下、女技ネット）では、地域貢献活動の一環として、令和元年から小学生を対象としたサイエンスイベントを夏休みに開催しており、この2年間はオンラインで行いました。また昨年度は、大学・工業高等専門学校との協力を得て女性技術職員が講師を務め全国規模で開催しました。そして今年も同様に全国の女性技術職員に協力をいただき、さらにはオンサイト（対面）でも参加できるハイブリッド形式で開催しました。オンサイト会場は6会場、オンラインは8会場を設置し、親子各80組の募集を行いました。

当日のメイン会場は、本学産業科学研究所に置き、各大学・工業高等専門学校に会場を設けました。初めに、島岡まなダイバーシティ&インクルージョンセンター（以下、DIC）長・副学長よりビデオレターにてご挨拶をいただき、続いて、女技ネット代表の中本有紀が本ネットワークの紹介、講師の紹介、プログラムについて説明しました。その後、全国の女性技術職員の講師がオンサイト、オンラインにそれぞれ分かれ、親子の参加者と実験を行いました。

各会場では、まず大学紹介を行い、各大学の魅力を参加者に伝えました。そして実験では、ペーパークロマトグラフィーを使い、色の分離を観察する実験を行いました。子どもたちだけでなく保護者の方も色が変わる仕組みに驚かれ、各テーブルで歓声が上がっていました。

実験後、クロマトグラフィーに関するクイズを実施、またこのクロマトグラフィーをどのように大学の研究に活かされているのかを、実際に研究している研究室をビデオで紹介しました。また各会場をオンラインで繋いで、本実験の感想などを発表していただきました。

オンライン参加の方はここでイベントが終了しましたが、オンサイトの参加者はその後各大学の施設見学などを行い、電子顕微鏡で材料の観察や、クリーンルーム体験などを行いました。

また、今回は日本在住の外国人親子からのオンライン参加もあり、英語を専門とする技術職員が対応を行いました。

当日キャンセルもありましたが、全参加者数は69組138名となりました。初めてのハイブリッド形式開催のため、スムーズな中継ができるかどうか、また新型コロナウイルス感染対策の不安もありましたが、全国の大学・高等専門学校15機関69名（大阪大学含む）の女性技術職員の協力・連携により無事サイエンスイベントを終了することができました。

【主催】大阪大学 部局横断型女性技術職員ネットワーク

【共催】大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター、同工学研究科、同基礎工学研究科、同理学研究科、同産業科学研究所、同核物理研究センター、同蛋白質研究所、同科学機器リノベーション・工作支援センター、同低温センター

【協力】東京工業大学、山梨大学、信州大学、静岡大学、東海国立大学機構 名古屋大学、名古屋工業大学、神戸大学、鳥取大学、岡山大学、愛媛大学、九州工業大学、琉球大学、奈良先端科学技術大学院大学、宇部工業高等専門学校

以上、数々の機関にご協力をいただきました。心より感謝いたします。



各大学・高等専門学校の様子



実験および施設見学の様子



島岡まな DIC センター長・副学長  
ビデオレター



メイン会場の女技ネット（大阪大学・神戸大学）